

発表演題：歯科領域と美容外科の新コラボレーション

著者名：奥寺 元

抄録：

近年、歯科領域の開発によって、抽象的なそれよりも審美的に、また生理学的に沿うイメージの相貌回復ができるようになって来た。それは、画期的な臨床が背景にある口腔インプラントの出現によって 顎骨再生と骨の保全が構築されます。つまり、従来型の治療の義歯、**Bridge** などでは顎の骨吸収を促進する可能性があり、生理的、表情を維持できず、顔貌崩壊に成りその結果の無歯顎顔になります。

私どもは、今まで永遠に若さを目指す真の審美的なアクションあったが、すべての社会に対応したものではなかった。

新しいアンチエイジングの流れとして、医科の **Aesthetic Surgery** のコラボレーションで、顎顔面顔外科により多くの審美的な生理学的な回復で効果が上り理想的な治療の構築が出来ます。

時代は再生で、硬組織再生および軟部組織再生のための、多血小板血漿 (**PRP**、**PRF**) の提案は特に非常に効果をもたらしており、私は将来的に科学の観点からと美容医科との相互間隔のコラボレーションによってもっと患者のためにこの方法で医療効果を達成するために重要であると思われ、この点を報告致します。